

# 国債基金のムダ削減

ムダ削減を徹底し、財政再建へ——。2013



竹谷とし子さん

年度予算案では、公明党の主張で「国債整理基金特別会計」の残高約7兆円が取り崩され、約735億円のムダが削減された。

国債整理基金は国の借金である国債を償還(返し)する見通し

だ。

ただ、この資金は国債発行で賄っているのが実情で、保有するだけでも多額の利払い費が必要。借金をして手元資金を持

ち、毎年利息を払い続ける手法は、税金のムダと指摘されていた。

そこで13年度予算案では、残高のうち約7兆円を取り崩し、その利払い

円に抑えた。その上、緊急時には日本銀行(日銀)から資金を借りられることとし、危機対応に万全を期す。

円の手元資金を保有するための費用が約120億円にも上ると指摘。その上で、国債整理基金の残高約10・3兆円について「リスクに備えるために

## 残高7兆円を取り崩し

## 利払い費735億円不要に

費約735億円が不要になった。残高は一回の国債入札が不調に終わって

しは、公明党の竹谷とし子参院議員が強く求めていた。昨年3月の参院予

算委員会などで竹谷さんは、国が借金をして1兆

### 竹谷さんの国会質問が実現

#### 13年度の国債発行計画

総額170兆5452億円 (-2.1%)

内訳	新規国債 (赤字国債など)	42兆8510億円 (-3.1%)
	年金特例国債	2兆6110億円 (-)
	財投債	11兆円 (-26.7%)
	借換債	112兆1806億円 (-0.1%)
	復興債	1兆9026億円 (-29.1%)

※( )内は12年度当初予算比の増減率。—は計算できず

合には借りられるように、がなくては実現できなかつた。

はないか」と訴えていた。取り崩された約7兆円は13年度の国債(借換債)償還に充てられ、国債発行額の抑制に貢献。13年度の国債発行額は約170・5兆円と当初予算では5年ぶりに減少したが、この取り崩し